

- 学ぶ人
- 思いやる人
- 鍛える人

緊急事態宣言解除です

学校長 卯月 道彦

今週に入り、ようやく北海道の緊急事態宣言が解除されました。学校においても、外部からの講師を招いての授業や、校外に出かけての学習が可能になりました。部活動は26日（土）から始まる帯広市夏季中体連大会に向け、12日（土）から活動が解禁になりました。12日（土）の午前中には、26日ぶりに活動できる喜びを感じながら練習に取り組む各部の姿がみられました。子どもたちは本当にいい表情でひとつひとつ確認しながら練習を行っていました。部活動再開からわずか2週間で3年生にとっては最後の市内中体連大会となります。十分な練習や調整はできなかったことと思いますが、これまで頑張ってきた自分自身と仲間を信じ、自分たちが持っている力を出し切ってくださいね。皆さんが最高のプレーをみせてくれることを期待しています。なお、すでに各部の顧問から保護者の皆様へお伝えしている通り、全十勝・全道大会も含めて完全無観客での開催となりますことにご理解願います。よろしくお願いたします。



前期中間テストを行いました



6月18日（金）、前期中間テストを行いました。1年生にとっては中学生になって初めて受ける定期テストとなり、テストを受ける上でのルールを担当の先生からしっかり聞き、机の引き出しに入っているものは全てロッカーに移動し、机の上には鉛筆と消しゴムのみをおいて最初の定期テストに臨みました。1年生の1時間目は「社会」のテストとなりましたが、緊張した様子で先生からテスト用紙を受けとり、テストを待つ様子がみられました。果たして結果はどうだったのでしょうか？



クロームブックを使用した壮行会



6月22日（火）6時間目、本校生徒会の企画により、中体連壮行会を開催しました。今回も全校生徒が一同に集まることはできないため、生徒総会と同様に、全校へ呼びかける生徒は放送室に集まり、それ以外の生徒は学年ごとに各階のオープンスペースに集合しました。しかし、今回はクロームブックと大型テレビを活用し、音声に加えて映像も放送室から全校生徒へ届けることが出来ました。開会の言葉

に続いて、生徒会長の藤田菜未さんから全校生徒へ挨拶があり、続いて生徒会執行部の「リョクエンジャー」による各部へのエールも送られました。続いて、①野球、②ソフトボール、③サッカー、④ソフトテニス（男女）、⑤陸上競技、⑥バスケットボール（男女）、⑦バドミントン、⑧バレーボール、⑨卓球、⑩合同陸上競技、⑪柔道、⑫体操、⑬新体操、⑭剣道、⑮水泳、⑯吹奏楽、の部長から大会への意気込みを述べてもらいました。どの部の部長さんも立派に決意を述べてくれたと思います。また、各部の部長が決意を述べてる時間に、各階のオープンスペースではユニフォームに着替えたそれぞれの部の選手達が整列する形をとりました。コロナ対策で制限がかかる中、今回も様々な工夫を凝らしたあたたかい壮行会となりました。忙しい中、企画・準備・運営を行ってくれた生徒会執行部、放送委員会の皆さんありがとうございました。



帯広市中体連合同陸上競技会

6月24日（木）、すべての競技のトップを切って、帯広市中体連合同陸上競技会が帯広の森陸上競技場で行われました。本校からは3年生の柴戸将規くんが、「100m」「ハンドボール投げ」「走り幅跳び」「800m」「合同リレー」に出場しました。柴戸くんはこの日に向けて、帯広の森陸上競技場での練習も含め、毎日一生懸命練習に取り組んできました。当日は全ての種目において、気持ちのこもった走りや跳躍がみられましたが、特に1番練習した800mでは、全体の6位に入り見事に入賞となりました。本当によく頑張りました。



おびひろ市民学が始まりました



緊急事態宣言が解除されたことにより、昨年度から帯広市で一斉にはじまった「おびひろ市民学」も再開されることになりました。6月23日（水）6時間目には、2年生が「認知症を知ろう」というテーマで「認知症サポーター中学生養成講座」を受講しました。講師として、地域包括支援センター愛仁園の皆様にお越し頂き、「認知症とはどのような障害なのか」「認知症の人と接する時の心構えとは」など、分かりやすく説明していただきました。